

COOP-JOSO News Letter

2019年11月2日号 発行/常総生協広報G

2019年度活動テーマ「JOSO食材でかんたん・うちごはん」

＼いよいよ今週!!／ 11月2日(土)は「生協まつり」!!

＼ぜひご家族、お友達とお越しください!／

生産者と組合員が交流できる年1回の機会!!

今年も昨年に引き続き組合員さんが実行委員となつて企画、運営を一緒に取り組んでいます。つくる人、食べる人、組合員、地域の皆さんが集う生協まつり。今回のまつりは「クイズラリー」、「生産者さんによりトークリレー」、「黒澤さんによる“きずな巻き”」、「食育朗読会」とイベントも目白押し!!

合計27生産者が参加します。生産者・職員一同お待ちしております!!

※出店生産者の一覧はおすすめチラシの裏をご覧ください。

今年のテーマは

JOSO食材でかんたんうちごはん

常総生協まつり

11月2日(土)
10時～14時30分(雨天決行)

イベント	食べま	お買い物	エコな
・クイズラリー ・食育朗読劇 ・餅くり体験 ・きずな巻き ・福島とつながろう 雪っ娘かぼちゃ ・じぶんの販売	・麻も肉の丸焼き ・にんじんポタージュ ・揚げたまコロッセ ・つみれ汁 など ※その他 試食もたくさん!	・新鮮野菜 ・海産物 ・コーヒー ・はちみつ ・みかんなど いつもより お買い得	マイバッグ、 マイお箸、 小鉢を ご用意下さい。 リユース食器 あります。 ☆JFSAによる 古着回収&販売

ばしょ 常総生活協同組合本部 守谷市本町281
主 催 常総生協まつり実行委員会



2019年11月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●

11月ゴンタの丘「常総っ子応援団」は毎週木曜日に外遊び活動しています。試食会は11/28(木)開催です。

11/5(火)私たちのくらしと憲学習会(常総生協)
脱原発とくらし見直し委員会(常総生協)
11/6(水)定例理事会(常総生協)
11/7(木)パラマウント靴販売会(常総生協)
11/9(土)光風台まつり
11/13(水)商品キャラバン学習会(常総生協)

○提携・協同・連帯企画●

11/7((木)東海第二原発訴訟 口頭弁論
11/9、10(土、日)甲状腺検診(矢板)
11/16(土)STOP!!東海第二原発の再稼働いばらき大集会
11/21(木)千葉県連創立70周年記念式典
コープ共済地域ささえあい助成交流会
日生協インターネット仲間づくり実践交流会

台風19号・直近の農作物の被害について

【柏田中・寺田さんハウス（柏田中の完熟トマト）】

柏田中の農道一帯は2.5mほど冠水しました(11月1回newsletter表紙参照)。その一帯には、常総生協でもファンの多い「柏田中の完熟トマト」の寺田さんのハウスがありました。

(写真右：加温機が水に浸かり故障 写真中央：育苗していた苗が全滅 写真右：水圧で壊れたハウス 10月24日撮影)

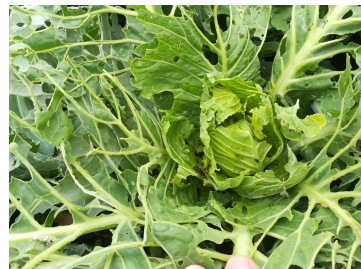
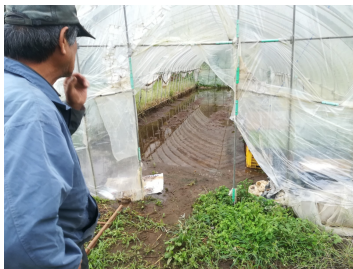


台風後、ハウスに入ることができたのは5日後の10/18(金)、常総生協で毎年3月1回～スタートする予定だった完熟トマト5,000株が水に浸かり全滅しました。またトマトハウス3棟の「加温機」も故障し、被害額は数百万円にのぼります。寺田さんも「**38年間この地域でトマトを作っているが、こんな事は初めて**」と話しました。訪問したのは10/24(木)ですが、翌日10/25(金)に柏市役所に補助金の申請に行かれるとの事でした。ハウスの片付け、張り直し、育苗のやり直し等で、2020年度の「柏田中の完熟トマト」に大きく影響してきます。状況は適宜お伝え致します。

※もう一人の生産者の鈴木さんのハウスは高台だった為、大きな被害は受けておりません。

【清水農園(野菜セット等)】

(写真右：ハウスが冠水 写真中央：ヨトウムシ 写真右：ヨトウムシに食べられたキャベツ 10月15日撮影)



坂東市にある「清水農園」さんのところは、畑やハウスが冠水し、台風経過後1週間経っても畑に入れておりません。本来であれば11月から秋冬野菜が最盛期を迎えるところですが、葉物野菜が育たず、根菜類もどこまで出せるかまだ分からない状況です。

また、今年は9月には30度以上、10月中旬になっても25度を超える日が続き、例年に無い高気温でした(組合員の皆様についても、例年10月上旬には「農産蓄冷剤」を外しておりますが(最高気温が20度以下)未だ外せておりません)。その結果、ヨトウムシ(写真中央)が大量発生し、小松菜、ほうれん草、キャベツ、ブロッコリーなどの葉を中心に食べ尽くされています。気温が高かった事により**葉物が取れず、ナスやきゅうりなどの夏野菜が10月まで出荷できるという異常事態**が発生しています。

生産者にとって例年にも増して厳しい状況です。生産者のいかに厳しい状況でも農薬を使わない栽培をするという想いは、食べる人の安全や安心を考えての決意です。決して状態の良いものではないかもしれませんが、生産者の想いや覚悟と共に、今の状況を理解し、組合員として、食べ支えることで応援していきましょう。

寺田さん、清水さんだけでなく、各地で被害に遭われた方へ応援の声・メッセージがありましたらぜひご意見欄等に記載いただければと思います。内容は生産者へお伝え致します。

2019年9月29日(日)JCO臨界事故20周年集会

とめよう、東海第二原発の再稼働に参加して



1999年9月29日(日)東海村で起きたJCO臨界事故から20年になりました。原子力推進室の人たちはこの事故の教訓を生かせず、福島での原発事故を引き起こしてしまいました。JCO臨界事故、福島第一原発事故を忘れてはいけない。その想いで9月29日(日)に集会が開催されました。集会に参加して感じたことを寄稿させていただきます。

2019年でJCO臨界事故から20年経過という節目の年となります。当時私は高校1年生(16歳)で、宮城県に住んでいました。恥ずかしながら集会に参加するまでJCO臨界事故の事はほとんど知りませんでした。先輩職員に聞いたところ、当時常総生協は組合員からの六ヶ所核燃料再処理施設、上関原発への問題提起もあり、理事会で「国のエネルギー政策の転換を求める声明」を決議していたことを知りました。

集会に参加して感じたのは、20年たった今も刻まれた苦しみや痛みは消える事はないということ、「二度と同じ過ちを犯してはいけない」という事故を経験した人たちからの強いメッセージです

私にとっての実体験は2011年の福島第一原発事故です。当時は常総生協の供給職員として茨城県南部から千葉県北西部の組合員の所へ配達をしていましたので、お母さんたちの恐怖に怯

えた声を直に聞いていて今も忘れられません。私には8歳、6歳、3歳の子どもがいます。一番上の子は福島第一原発事故の2か月前に生まれました。私自身も同様に怖かったですし、生まれたばかりの子どもに被ばくさせてしまったという後悔は一生拭えない傷となりました。

常総生協では2011年3月の母乳検査を皮切りに、組合員のお子さんの尿検査をしたり、血液検査、供給エリア(茨城ー千葉)の土壌調査、子ども達の登下校ルートや普段遊んでいる公園と遊歩道を線量計で測って記録したりと、子どもたちの健康を守ろうと動きました。また、福島で放牧酪農をしていた酪農家の生産者も志半ばに廃業になってしまい、私が生協に入協する前からある牛乳が届けられなくなったのは非常に残念でしたし、何より、目の前で日常が奪われていく喪失感を経験しました。

人の人生を変えてしまう。それが原発事故だと思います。人間だから失敗はあります。しかし、謝っても済まされないこと、取り返しがつかないことは二度としないことだと思います。私たち大人が経験を元に、こうした集会を継続させて一人でも多くの人たちに知って、学んで、気づいてほしい。そうして世の中が正しい選択をしていける様

になってほしいと願います。私も、私たち常総生
協も引き続きこの問題に取り組んでいきます。
(専務理事 伊藤博久)

今回は「高橋徳治商店のおでん種」で
とっておき「おうちゴハン」～ごちそうおでん です！

ゆるカフェ

ねりものと添加物のお話 & 試食会

実感
しよう

常総生協の食材は・・・ちょっとお高い!?
でもおいしいのよネ～
ねりものは煮込んでも味がぬけないし・・・
市販のとぜんぜん違う！

日時：11月30日（土）10:00～12:30

場所：我孫子北近隣センター並木本館 調理室

（我孫子市並木5丁目4番6号 我孫子駅北口徒歩7分）

講師：常総生協商品部担当 ★ 柿崎洋さん

ねりもの等に使われている添加物についてお話してもらいます（1時間程度）

参加費：1人200円（小学生以下無料）

※資料や食材の準備のため事前にお申し込みください

問合せ 0297-48-4911 担当 はぎわら

その他試食あり。おせちの試食もちょっとだけあります。

申込書

11/30（土）千葉地区ゆるカフェに申し込みます

氏名

コース名

組合員番号

参加人数 大人 人、小学生以下 人

11/15（金）締切